

令和2年度（公社）砂防学会北海道支部研究発表会 ／砂防学会北海道支部奨励賞受賞講演

支部会員の皆様の日頃の研究に関する情報交換を目的に、令和2年度（2020年度）研究発表会を開催します。併せて砂防学会北海道支部奨励賞受賞講演を行います。今年は特に貴重な機会となりますので奮ってご参加願います。

日時：令和2年（2020年）11月6日（金）14：30～17：25

会場：北海道大学農学部総合研究棟1階 W109号教室

プログラム

14：30～14：35 支部長開会あいさつ

14：35～14：50 厚井高志（北海道大学）
キラウエア2018年噴火時の防災対応とわが国の溶岩流対策の方向性

14：50～15：05 桂真也（北海道大学）
活発な移動を示す地すべりの移動量と相関の強い水文量の検討

15：05～15：20 田中健貴（北海道大学）
斜面土層内の水みちが斜面安定に与える影響に関する実験

15：20～15：35 ○水垣滋・村上泰啓ら（寒地土木研究所）
H28年8月豪雨によるパンケヌーシ川流域の土砂移動と濁質流出

15：35～15：50 ○山田孝（北海道大学）
土石流先端部に形成される流木塊の運動特性と規模、形成プロセス

15：50～16：00 （休憩）

16：00～16：15 早川智也（日本工営株式会社）
平成30年北海道胆振東部地震に伴い発生した表層崩壊の特徴について

16：15～16：30 間片大地（北海道大学）
地震に起因した火山灰堆積斜面崩壊による崩土の長距離移動実態の解明
～2018年9月北海道胆振東部地震による厚真町の事例～

16：30～16：45 ○村上泰啓、水垣滋、藤浪武史ら（寒地土木研究所）
平成 30 年北海道胆振東部地震で発生した崩壊地箇所数精査及び発生土砂・倒木量の推定(仮)

16：45～17：00 青木稔弥（北海道大学）
平成 30 年北海道胆振東部地震により崩壊が多発したテフラ堆積斜面の降雨浸透特性

17：00～17：20 【砂防学会北海道支部奨励賞受賞講演】
澤田雅代（(株)シン技術コンサル）
大規模な土砂移動が発生した扇状地河川における砂防調査と計画－2016 年台風 10 号によるペケレベツ川を例に－

17：20～17：25 閉会

※タイトルは発表者の意向などにより変更する場合がございます。

【参加費用】 無料

【申込方法】

お名前、ご所属を添えてメールにてご連絡ください。

a5514@n-koei.co.jp （副支部長 早川宛）

【新型コロナ感染対策】

北海道大学のご配慮により定員 90 名の大きな教室をご用意いただいております。今回はその半数の 45 名を上限とし、密集を避けることといたします。ご参加の際はマスクの着用をお願いします。

【CPD】

CPD（技術者継続教育）の履行実績については（公社）砂防学会の CPD を申請しております。

【問い合わせ】

早川まで a5514@n-koei.co.jp

011-557-8025

会場：北海道大学農学部総合研究棟 1階 W109号教室

